

短答式問題対策講座

【短答式問題対策 憲法】（後期・木曜日 7 時限）

中野 辰久

講義のねらい

本講座は各種試験の受験を検討されている受講生を対象として、憲法の過去の短答式問題を取り上げ、これらの短答式試験に必要なかつ十分な憲法の基本知識と判例の知識を整理することを目標とします。各試験に応じて難易度についてある程度の違いはありますが、最高裁判所の判例の内容を正確に確認し、おさえておくことが何よりも重要です。それを重視したいと思います。

講義の内容・スケジュール

講義の進め方としては各種試験の過去問題集を利用して、それらを講義の中で実際に解いてもらい、それらの問題の解説をしながら、憲法の基本的知識とそれに関わる判例の整理をしていきたいと思っています。加えて過去の問題にはまだ出題されていない最近の最高裁判所の判例も適宜ご紹介していきたいと考えています。受講生の方々の目指す試験と勉強の進度を踏まえて、どの試験の問題を基準にして検討問題を選択するか、どういう形で問題を解いてもらうか、説明や解説の方にどの程度比重を置くかなどを判断していきたいと思っています。

参考にする教科書としては芦部信喜先生の著作で高橋和之先生が補訂されている『憲法（第八版）』（岩波書店）が読みやすさ、分量、網羅性の点でも適切であろうと個人的には思いますが、各種試験において過去問攻略テキストといった書籍が出版されていますのでそれを利用されることでも差し支えないと思います。また初学者には『はじめての憲法学（第4版）』（三省堂）が読みやすく、全体を理解しやすいと思います。

前述のとおり短答式試験においては最高裁判所の判例の内容・判旨を知っているかどうかがとても重要ですので、下記の『憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第7版）』はあった方が良いでしょう（将来司法試験を念頭に置いている受講生の方々には必須だと思います。）。

教科書等

『憲法（第八版）』（芦部信喜著・高橋和之補訂、岩波書店）

『別冊ジュリスト憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第7版）』（有斐閣）